

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE札幌



重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2014(ver.1.3)

1 建物概要		BEE	1.0	BEEランク	B ⁺
建物名称	本通小学校	総合評価	★★★★★	★★★★★	★★★★★
建物用途	学校				
延床面積	3,350.62 m ²				

2 重点項目への取り組み		レーダーチャート
地球温暖化対策	最重点項目 省エネルギー ★★★★★	<p>省エネルギー性能: 5.0 省資源等への取組: 3.0 緑化への取組: 5.0 雪処理: 4.0</p> <p>この建物は特に 緑化への取組 が優れています</p>
	省資源等 ★★★★★	
	緑化 ★★★★★	
	雪処理 ★★★★★	

3. 設計上の配慮事項とCASBEEスコア	
A 省エネルギー 合計 16点 / 24点	
Q1 温熱環境	スコア 1.0 LR1 建物外皮の熱負荷抑制
Q1 光・視環境	スコア 1.0 LR1 自然エネルギー利用
	LR1 設備システムの高効率化
	LR1 効率的運用
B 省資源等 合計 14点 / 23点	
Q2 耐用性・信頼性	スコア 1.0 LR2 非再生性資源の使用量削減
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0 LR2 汚染物質含有材料の使用回避
	LR3 地球温暖化への配慮
	LR3 地域環境への配慮
C 緑化 合計 9点 / 16点	
Q3 生物環境の保全と創出	スコア 2.0 LR3 地域環境への配慮
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア 5.0
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0
D 雪処理 合計 2点 / 3点	
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 0.0 LR3 地域環境への配慮
	スコア 2.0

4 設計上の配慮事項		
A 省エネルギー		
外断熱工法とLowEペアガラスによる断熱性能を向上させることで、暖房エネルギーを抑える計画としている。また建物の外形をできるだけシンプルな形とすることで表面積を小さくし、熱負荷低減を図っている。また建物中央に吹き抜け空間を配置し、トップライトを設けることで、屋間の照明エネルギー低減を図っている。		
B 省資源等	C 緑化	D 雪処理
ゴミをまとめ分別できる場所を設置している。	既存樹木を出来る限り伐採しない計画としている。	来客者駐車場及び登下校アプローチを近接させ、できるかぎりスムーズに除雪できるように配慮した。また、アプローチには芝生広場を設け、冬は堆雪スペースとして利用可能。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される